

スターキー補聴器の調整に必要な機材 (リビオ&シナジー製品シリーズ)



無線のみ	Livio Edge AI Livio AI Livio (耳あな型/耳かけ型)	ITE HS ITC RIC R BTE R micro RIC312 RIC312 BTE13	2.4GHz プログラマー 	ノalink プログラマー 	ワイヤレス範囲：約 7 m以内 ※有線による調整はできませんのでご注意ください。
		無線・有線どちらでも可能	Halo iQ Halo 2 Halo BTE	2.4GHzプログラマー 	有線で接続する場合 
ノalink プログラマー 					
Halo RIC	2.4GHzプログラマー 		有線で接続する場合 	ワイヤレス範囲：約 7 m以内 ※フレキシブルコネクタを使用し、有線での調整も可能。 金属面を内側（本体側）にして挿入し、軽く電池ドアを閉めます。	
	ノalink プログラマー 				
有線のみ	Muse iQ Muse (耳あな型)	IIC、CIC、ITC、ITE、スケルトン等 	フレキシブルコネクタ 	電池ドアを開き、フレキシブルコネクタの金属面を外側にして挿入します。奥まで挿入し電池ドアを閉じます。	
		オトレンズシナジーiQ オトレンズシナジー 	延長フレキシブルコネクタ 	※オトレンズシナジーiQ、オトレンズシナジーは、装着位置によっては、通常フレキシブルコネクタでも調整可能です。	
	Muse iQ Muse (耳かけ型)	micro RIC312 RIC312	—		電池ドアを開け、プログラムケーブルの●印と補聴器接続部の■印を合わせて、直接差し込みます。
		mini BTE312	フレキシブルコネクタ 		金属面は 外側
		BTE13 BTE13パワープラス※ ※Muse iQのみ	—		電池ドアを開け、プログラムケーブルの●印と補聴器接続部の■印を合わせて、直接差し込みます。
	プログラム装置	スピードポート 	ハイプロ 	ノalink 	左記のどれかに、プログラムケーブルを接続します。
プログラムケーブル	 ※2m	 ※50cm	紫色のケーブルがスターキー専用ケーブルです。		

スターキー補聴器の調整に必要な機材 (その他製品シリーズ&骨導)



プログラム装置	スピードポート 	ハイプロ 	ノalink 	左記のどれかに、プログラムケーブルを接続します。
プログラムケーブル	※2m		※50cm	
耳あな型	ティンパネット、イントラ、カスタムイヤなど	フレキシブルコネクタ 		電池ドアを開き、フレキシブルコネクタの金属片を 外側 にして挿入します。奥まで挿入し電池ドアを閉じます。
	オトレンズ	延長フレキシブルコネクタ 		※オトレンズは、装着位置によっては、通常のフレキシブルコネクタでも調整可能です。
3シリーズ	RIC312 BTE312	312用シュー (黒色) 		RICとBTE共通
	BTE13スタンダード	13用シュー (紫色) 		BTE13スタンダードのみ
	BTE13パワープラス	フレキシブルコネクタ 		金属片が 外側 : パワープラス
ジーノ	ジーノクラシック (RIC312)	フレキシブルコネクタ 		金属片が 内側 : ジーノクラシック
	ジーノ (RIC10)	—		電池ドアを開け、プログラムケーブルの●印と補聴器接続部の■印を合わせて、直接差し込みます。
Xシリーズ イグナイト Sシリーズ eシリーズ	RIC312	—		電池ドアを開け、プログラムケーブルの●印と補聴器接続部の■印を合わせて、直接差し込みます。
Xシリーズ イグナイト	ジーノ (RIC10)	—		電池ドアを開け、プログラムケーブルの●印と補聴器接続部の■印を合わせて、直接差し込みます。
	RIC13	RIC13用シュー (赤色) 		RIC13用シューを取り付け、プログラムケーブルの●印をシュー接続部の■印に合わせて、直接差し込みます
アリエス デスティニー	①K13デスティニー ②K312デスティニー ③P675デスティニー、アリエス675 ④OTE、アリエス	①K13用シュー (オレンジ : 13と記載) ②K312用シュー (オレンジ : 312と記載) ③P675用シュー (オレンジ : 675と記載) 	④OTE、アリエス 	
骨導	①F229D (メガネ) ②F228D (メガネ) ③Mini (カチューシャ)	ハイプロでのみ接続可能		
		①マイクカバーの内側 	②電池ドアの内側 	③マイクカバーの内側